

8月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号
「毒婦」和歌山カレー事件20年目の真実	田中 ひかる／著	
東京タワー	リリー・フランキー／著	F リリ
わたしのワンピース	にしまき かやこ／えとぶん	E ニシ
未還の名簿	青島 顕／著	
雨音を、聴きながら。	阿川 佐和子／[ほか]著	918 ア
ひのえうまに生まれて	酒井 順子／著	387 サ
思考実験大全	岡本 裕一朗／著	104 オ
宮沢賢治の元素図鑑	桜井 弘／著	431 サ
やまなし	宮沢 賢治／作	E ミヤ
かこさとし科学絵本の世界	藤嶋 昭／著	407 フ
宇宙	加古 里子／絵と文	44 カ
だんめんず	加古 里子／絵と文	E カコ
うみはおおきいうみはすごい	加古 里子／絵と文	E カコ

～ 読書会 memo ～

今回は3名の方にご参加いただきました。

お暑い中足を運んでいただきありがとうございました。

『わたしのワンピース』は子どもに人気の絵本です。ワンピースの柄が次々に華やかに変わっていく様子が楽しく、図書館でもおはなし会でよく読まれています。現在、姫路文学館で原画展を開催中だそうです。興味のある方はぜひ。

『雨音を、聴きながら。』は雨をテーマにしたお話を集めたアンソロジーです。読むときっと雨の日が待ち遠しくなります。また、46人の作家のお話が1冊で手軽に楽しめます。これまで知らなかった作家と出会うきっかけになるかもしれません。

自身も丙午年生まれだという酒井順子さんによる『ひのえうまに生まれて』。「丙午生まれの女は男を食い殺す」という迷信により、丙午年は出生数が前年と比べて70万人も減ったそうです。それほど気にする人が多かったのだと驚きました。そんな中、その年の受験や就職の倍率は低いから良かったよね、と参加者の方からお声がありました。丙午年は悪いことばかりでもなさそうです。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

見学のみの参加も大歓迎です。みなさまもぜひ、お気軽にご参加ください。

※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。
次回は 9月20日(日)午前11時からの予定です。